

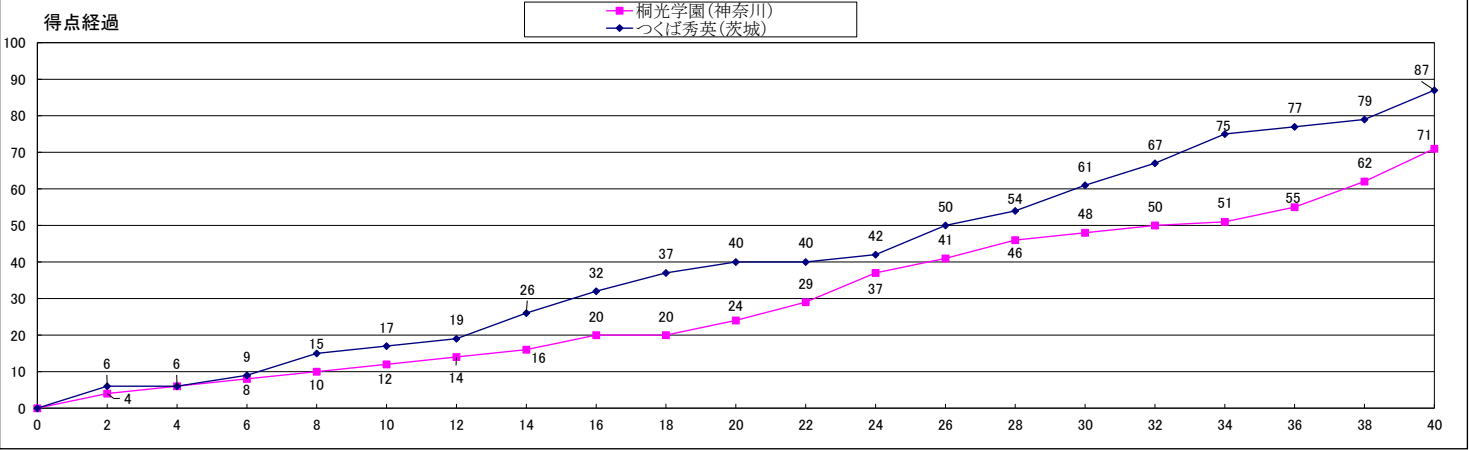
試合No.	A2	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会										
		期 日	令和5年2月12日(日)				会 場		小田原アリーナ				
男子2回戦		CC	岩井 遙河			U1		箱石 拓也		U2		沖田 裕毅	
		チーム名					1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score
		つくば秀英(茨城)					17	23	21	26			87
		桐光学園(神奈川)					12	12	24	23			71

つくば秀英(茨城)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
持丸 怜羽	* 4	14	0	3	0%	7	10	70%	0	0		4	4	1	0	1	0	4
親見 悠希	* 5	4	0	0		2	3	67%	0	0		1	0	0	0	0	2	1
塚本 康介	* 6	17	0	0		6	6	100%	5	6	83%	3	2	1	0	0	1	2
宮越 温生	* 7	18	4	8	50%	3	8	38%	0	2	0%	1	4	0	0	0	2	0
仲 柊哉	* 8	8	1	4	25%	2	4	50%	1	3	33%	1	4	0	1	0	0	5
塩澤 友章	* 9	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
朝日 開路	* 10	11	0	2	0%	5	10	50%	1	4	25%	0	5	3	1	2	3	2
高野 拳太	* 11	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
早川 信我	* 12	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
佐々木 駿輔(CAP)	* 13	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	1	1
小野 次郎	* 14	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
黒澤 修太郎	* 15	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
中尾 陽斗	* 16	1	0	0		0	0		1	2	50%	0	0	0	0	0	0	0
三澤 舜	* 17	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
杉山 康輔	* 18	10	1	2	50%	2	2	100%	3	3	100%	2	0	1	0	0	0	0
コーチ 稲葉 弘法																		
合 計		87	6	19	32%	29	45	64%	11	20	55%	12	20	6	2	3	9	15

桐光学園(神奈川)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
島村 俊乃介(CAP)	* 4	21	3	5	60%	5	6	83%	2	2	100%	0	4	2	2	0	5	1
川上 航汰	* 5	0	0	1	0%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
福永 淳也	* 6	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
井上 博樹	* 7	20	0	0		9	13	69%	2	2	100%	4	3	1	1	0	0	3
進 敬太	* 8	2	0	0		1	2	50%	0	0		0	2	0	1	0	0	1
渡邊 政哉	* 9	4	0	0		2	2	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	1
古山 幸聖	* 10	1	0	2	0%	0	1	0%	1	2	50%	0	0	0	0	0	0	2
服部 晁汰	* 11	4	0	0		2	5	40%	0	0		0	1	0	0	0	0	0
大竹 陸翔	* 12	11	0	0		5	6	83%	1	3	33%	4	5	1	0	1	0	4
黒田 捷稀	* 13	6	0	5	0%	1	3	33%	4	4	100%	0	1	0	2	0	2	5
塩田 吉琉海	* 14	0	0	1	0%	0	3	0%	0	0		0	0	0	1	0	1	1
下原 颯騎	* 15																	
高野 幹太	* 16																	
吉岡 麟太郎	* 17																	
大澤 勝太郎	* 18																	
コーチ 高橋 正幸																		
合 計		71	3	14	21%	26	42	62%	10	13	77%	8	17	4	7	1	8	18



戦評

1Q 両チームマンツーマンからスタート。両者ともに硬さが見られ、ハーフコートのオフェンスが中心となる。桐光学園は#12のゴール下を中心に攻め、つくば秀英は#7の3ptsなどで応戦していく。一進一退の攻防が続く中、つくば秀英のディフェンスが効きはじめ、スティールから速攻や#4の良い状況判断のプレーが光り、17-12とリードを奪って1Q終了。

2Q 開始早々、一進一退の展開が続く、つくば秀英は#4のリバウンドや1対1、#7の3ptsを中心に得点し、桐光学園は#11のゴール下で得点する。24-14とつくば秀英が10点リードしたところで桐光学園はタイムアウト。落ち着きを取り戻したい桐光学園だが、つくば秀英は#10がドライブから連続得点をしていき、#8がバスケットカウントを取り、流れを渡さない。桐光学園はこのQ、2回目のタイムアウトを取るもつくば秀英の堅いディフェンスの前に得点が伸びない。#4のミドルや#9のゴール下で得点し、40-24とつくば秀英リードで2Q終了。

3Q 序盤から勢いを出したい桐光学園は、フルコートマンツーマンを仕掛け、#10、#13のプリースローなどでリードを縮める。たまたまタイムアウトを取ったつくば秀英はゾーンディフェンスで流れを変え、#7の3ptsやレイアップなどでリードを保つ。桐光学園は#4がようやく真価を発揮し、ミドルに3ptsと活躍する。落ち着きを取り戻したつくば秀英は#7の4本目の3ptsが決まり、61-48とつくば秀英リードで3Q終了。

4Q 点差を縮められ、ギアが上がったつくば秀英は#6が献身的にゴール下で身体を張って得点していきリードを広げる。後のない桐光学園はディフェンスの強度を高め、#7のスティールや#4の3ptsなどで最後まで頑張りを見せるがつくば秀英が落ち着いてゲームを収め、87-71でつくば秀英の勝利となった。